

「語りもんそ」

vol. 64 令和3年11月17日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

令和3年度ユニークベニュー活用促進事業（鹿児島県）

♪♪♪日曜の朝にカフェで音楽を♪♪♪

カフェミニ・コンサート

出演（公財）鹿児島県文化振興財団

アーティストバンク登録アーティスト

宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

（入場料は無料ですが、要ワンオーダー）

※新型コロナウイルス感染予防のため座席数を20席程度とし、検温・手指消毒・換気など対策を講じ開催しています。（座席は事前予約抽選制）

●7月25日（日）は、松岡竜大さん（ギター）と折田夏菜さん（ピアノ）のお二人で、C.ドビュッシー作曲「水の反映」、久石譲作曲「summer」、松岡竜大作曲「mikuu(tango)」、松岡竜大作曲「Lacan」、松岡竜大作曲「Algerias」、C.ドビュッシー作曲「喜びの島」、松岡竜大作曲「mizumari」、V.モンティ作曲「チャルダッシュ」全8曲が演奏されました。



お客様から「この季節によく合った選曲だったと思います。とても気持ちよく過ごせました」、「デュオのmizumariとても良かったです。チャルダッ

シュも季節と情景が浮かびました」、「久々にライブコンサートを聴き、生の演奏はいいなと思いました。魂のこもった演奏をありがとうございました」、「ピアノでは夏の清流が感じられ、ギターでは初めてフラメンコの演奏が聴けて良かったです。デュオでは、チャルダッシュがとても良かったです」などの感想をいただきました。



折田夏菜さん（左・ピアノ） 松岡竜大さん（右・ギター）

●8月22日（日）は、迫田瑞花さん（ピアノ）と馬場亮太さん（バリトン）お二人の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の爆発的な増加に伴い13日に鹿児島県独自の「緊急事態宣言」が発令されたためコンサートは中止となりました。

●9月26日（日）は、白石有佳理さん（ピアノ）と崎山智華さん（ソプラノ）お二人の予定でしたが、新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」が9月30日まで延長されコンサートは中止になりました。お二人は令和4年1月23日（日）のカフェ・ミニコンサートに出演することが決定しました。

●10月31日（日）は、馬場亮太さん（バリトン）と迫田瑞花さん（ピアノ）のお二人で、C.クラウゼイウス作詞・F.シューベルト作曲「死と少女」、S.リュベック作詞・F.シューベルト作曲「さすらい人」、J.S.バッハ作曲「平均律クラヴィア曲集 第1巻より 第18番 嬰ト短調 BWV863」、K.G.ラッペ作詞・F.シューベルト作曲「Der Einsame」、E.クルシェネク作曲「UNSER WEIN」、F.ショパン作曲「バラード第1番 ト短調 Op23」、野上彰作詞・小林秀雄作曲「落葉松」全7曲とアンコールに高野喜久雄作詞・高田三郎作曲「くちなし」が演奏されました。



お客様から「良かったです。ホールで聴きたいと思いました」「声楽とピアノがマッチしてとても良かった。特にバリトンの生うた（声）に心打たれました」「シューベルトしほりもドイツ歌曲の歴史を感じられて良かったです。ピアノもショパンは楽譜を暗記されていて凄かったと思います」「とても素敵でした。歌声も良かったし、ピアノも素晴らしい。ショパンすごかった」「とても素敵な時間でした」「コロナ禍での久しぶりのコンサート。ゆったりした時間を過ごせました」「昨夜は雨で「落葉松」の歌がぴったりでした」「選曲がとても良い。「死と少女」「さすらい人」

序曲の歌曲を聴く機会が少ないので」などの感想をいただきました。



迫田瑞花さん（左・ピアノ） 馬場亮太さん（右・バリトン）

九州吹奏楽コンクール

鹿児島県代表（高校Aの部）

応援コンサート

8月13日（金） 宝山ホール

九州吹奏楽コンクールに鹿児島県代表（高校Aの部）として出場する3校の応援コンサートが開催されました。

*出演団体

●神村学園中等部・高等部

- 1.課題曲Ⅳ 吹奏楽のための「エール・マーチ」
作曲：宮下秀樹
- 2.組曲「名誉・勇気・誓約」（自由曲）
作曲：S.メリロ
- 3.オーメンズ・オブ・ラブ
作曲：和泉宏隆/編曲：真島俊夫
- 4.虹
作曲：石崎ひゅーい/編曲：郷間幹夫

